



阿木燿子の艶もたけなわ

第

139

回

日本のブライダルファッション界の

第一人者、桂由美さん。ブライダルの伝道師とも呼ばれる桂さんのウエディングドレスは、著名人の結婚式ではもはや定番といつていいでしょう。しかし、桂さんは現状に満足することなく、今もなお意欲的に新しいドレスを模索し続けています。そんな桂さんの足跡と探求心の源泉について、阿木さんが迫ります。

YUMI KATSURA

桂由美

ブライダル
ファッションデザイナー

52年前にお店を出した時、1年目は 30人しかお客さんが来ませんでした。

阿木 去年の秋、主人（宇崎童童氏）と共に、「いい夫婦」に選ばれた際、先生のデザインのお服を着させて頂き、ありがとうございます。お陰様でとても好評で、友人知人から褒められました。

桂 今日、身に着けていらっしゃるスカートもよくお似合いですよ。

阿木 これ、あの時のドレスの共布ですが、色合いがとても気に入っています。友禅なんですよね。
桂 大正ロマンの趣があるでしょ

う。大正時代って、ヨーロッパ風の柄を友禅染にして、着物に仕立ててるんです。だからモダンな柄行きが多い。

阿木 当時としては、かなり斬新な発想ですよ。先生はブライダルのみならず、オートクチュール（高級衣装）のパリコレでも、さまざまな新しい試みをなさってらっしゃる。

桂 オートクチュールの世界で生き残ってゆくのは、大変なこと

すからね。日本人でなければできないことをやるしかないと思って、5年前から、友禅に絞って入るんです。海外で着物を着ていると注目度が全然違うんです。一緒に写真を撮ってほしいとか言われたり。

阿木 でも着物は一人では着られないし、支度が大変ですよ。

桂 確かに、いざ海外で着ようとする荷物が増えて一苦労。それでパリで大勢の人に着物の感覚に

触れて頂きたいので、閃いたのがフリーサイズの服なんです。

阿木 私が着させて頂いたドレスですね。ポンチョ風にふわりと被る感じで、とても着やすかったです。体形を選ばずに、何より痩せて見えるところが嬉しい（笑）。それにしても先生は絶えずチャレンジをなさり、ブライダルでも素材からこだわっていらっしゃる。
桂 和紙でウエディングドレスを作ったこともあります。

作詞家として約1500の楽曲を持ち、作家、舞台などのプロデューサー、コーラスグループ主宰と幅広く活躍している。夫はミュージシャンで俳優の宇崎童童氏。明治大学文学部卒業。横浜市出身。



かつらゆみ 東京都生まれ。共立女子大卒業後、フランスへ留学。1964年、日本初のプライダルファッションデザイナーとなる。93年に外務大臣表彰を受け、96年には中国から新時代婚服文化賞が授与される。さらに2010年、全米プライダルコンサルタント協会から名誉会員の称号が授与され、13年にはアジア・クチュール協会の設立に際し、創立メンバーに選任される。また、非婚化・晩婚化による少子化問題にも力を注ぎ、06年からは「恋人の聖地」(現在日本全国に140カ所、海外に4カ所誕生)を認定・育成する運動をしている。

阿木 私が驚いたのは、オワンクラゲと蚕を掛け合わせてできた、光る絹糸でウエディングドレスを作られたことです。オワンクラゲって、海に漂っているあのクラゲの一種ですよ。それと蚕で遺伝子組み換えをしようなんて思い付く人がいるのが信じられないし、それをまたドレスに仕立てようなどとお考えになった先生の発想力に、ただただ口がアングリです(笑)。

桂 そうですよ、私もあの時ばかりはびっくりしたんですけど(笑)、学術研究都市のつくばには常時、400人ぐらいの博士が住んでいるらしいんですけど、国から補助金が出ている団体がいくつもあって、その中のひとつである国立研究開発法人・農業生物資源研究所が光る絹を開発したんです。たまたまそのニュースを新聞で知って、すぐに電話を掛けて問い合わせてみたんです。

阿木 まずその行動力に脱帽です。**桂** そうしたら今度は向こうの方がびっくりして。今、桂さんのところの連絡先を探していたんですけど、って言うじゃないですか。何の用でって聞き返したら、あの素材は、ウエディングドレスに向いていると思ったもんでって。**阿木** 相思相愛ですね。素材の話でも、何だか嬉しい(笑)。**桂** 「いろいろお話を伺いたいのです、すぐ来てくれますか」ってお

っしゃるので、つくばまで飛んで行きました。そして、実際に現物を見せて頂いた時には、心底驚きましたね。こんな神秘的な世界があるんだって。蚕が緑色に輝いているんです。蚕ってご存じのように、自分の体の中から糸を吐くんですけど、その糸が緑色なんです。でも、いわゆる普通の緑じゃない。蛍光色の、あの目に刺激的な緑。薄暗い所で電飾のような光を放っている。

阿木 それを実際にドレスに? **桂** もちろん、しましたとも。その糸で布を織ってもらい、ドレスに仕立てたんですけど、スポットライトを当てている時は白いドレスなんです、明かりを消してみたら緑色に光って、それはそれは奇麗で。**阿木** 想像しただけでも、幻想的。**桂** オワンクラゲと蚕の遺伝子を組み合わせた、まったく新しい素材でウエディングドレスを作ることができて、私達もとても嬉しかったですね。**阿木** 素材の進化は、ファッションというより、サイエンスの世界ですよ。先生のアンテナの張り巡らせ方は、多方面にわたって